

奈良文化女子短期大学 保幼小連携ワーキンググループ
第15回 議事録

1. 日時：平成22年6月19日（土） 11:00～12:30
2. 場所：奈良文化女子短期大学 本館 5階
3. 参加者：16名
4. 内容：1年生入学後1・2週間接続カリキュラム1次案の見直し

鳴門教育大（授業実践カリキュラム）准教授 前田洋一先生より
保幼小連携WGのこれまでの取り組みについての感想

- ・各教師が手探で掴んだ接続期のスキルについて、これまで文章化しているものはない。表記すること事態が難しいことであるが、小学校における授業時数確保の観念から鑑みると、時間割上に貼り付けていくこのスタイルでしか表記しにくいと思う。
- ・教育課程の考え方（位置づけ）は教師によってことなり、教科や領域で担える部分と担えない部分もあるのが現実である。

◎ 上記の感想を受けてカリキュラムの見直しを行う
〈第1週〉

ねらい

- ・学級の先生や友達を知る
- ・自分の教室に行くことができる
- ・学習の準備ができる

〈第2週〉

ねらい

- ・学校のことがわかる
- ・集団の中で自分の行動のしかたを学ぶ

再確認
共通認識

<改善の視点>

- ・週の「ねらい」〈上記参照〉を達成しているか
- ・授業時間数は確保されているか
- ・子どもの学びの意欲は喚起されているか
- ・合科的な取り組みが効果的に行えているか
- ・個人の成長レベルに配慮した取り組み（時間配分）であるか
- ・各方面（立場）の人が見ても、接続期の実態がわかるものであるか
- ・理念の共有が大切である

<段差がある学校間への接続で重要なこと>

精神面への助言や意欲付けでできること、メンタルサポート

「勉強は難しくなるよ」というような不安の増幅から、「分かるようになることが増えるよ」という期待感へ

5. 次回の予定

平成22年7月17日（土） 11:00～12:30